



## 群馬県指定史跡 千駄木遺跡

千駄木遺跡は、松井田町西野牧に所在します。国道十八号碓氷バイパス沿いの若宮から入牧橋を渡って県道松井田軽井沢線に入り、千駄木川を渡ると、左手に二つの大きな岩があります。その間の岩陰に遺跡がありました。標高は約六百四十メートルあります。発掘調査によって遺構は掘り下げられ現地に残されてはいません。出土した遺物は、群馬県埋蔵文化財調査センターに保管されています。

昭和四十六年七月、松井田文化財専門委員吉岡一峰氏・佐藤勲氏・小林二三雄氏によって調査が行われ、群馬県遺跡台帳に登録されました。県道松井田軽井沢線の拡幅工事により千駄木遺跡は消滅する予定になっていました。このため、記録保存のため発掘調査が実施されることになり、昭和四十八年に実施された発掘調査では、第一土坑、第十号土坑、および第一集石が検出されました。出土遺物としては、縄文時代(深鉢・注口土器・鉢など)・弥生土器(壺・甕・鉢・高坏など)・土師器(甕・壺・坏・高坏など)・須恵器(坏・羽釜・長頸瓶)のほか、縄文



千駄木遺跡 遠景

時代の石器(石鏃・打製石斧・磨製石斧・石匙・石錐・凹石・磨石など)、牙鏃や貝輪などの骨角器、大量の獣歯骨や貝類などが出土しました。発掘結果を受けて、地元から遺跡を大切に保存したいと申し入れがあり、設計変更が行われ、遺跡は保存されることになりました。この後、群馬県文化財保護審議会で審議の結果、昭和五十年九月五日付けで群馬県指定史跡に指定されました。

### 令和4年度 文化財愛護ポスター



優秀賞

磯部小学校(6年)

吉田 奈歩さん

### 安中を訪れた「越後瞽女」について情報を探しています



瞽女は盲目の女性旅芸人のことです。越後瞽女は越後からやってきた瞽女のことです。新潟から峠を越えて安中地域を訪れ、昭和30年代ごろまで養蚕農家などで芸を披露していました。当館ではこの「昭和30年代ごろに安中地域を訪れていた越後瞽女」に関する情報を探しています。

#### 求めている情報

- 新潟のどの地域から来ていたか
- どのようなルートで安中へ来たか
- 安中市内のどこで見かけたか
- 衣装や披露した芸について
- 瞽女と養蚕のつながりを感じさせるエピソード など

「祖父母から聞いた話」「幼少期の思い出」など、ささいな記憶でも構いませんので、ふるさと学習館までぜひ情報をお寄せください。

【メール】 furusato@city.annaka.lg.jp

【電話】 027-382-7622(ふるさと学習館/火曜休館)

### 図録紹介

安中市ゆかりの偉人として真っ先に思い浮かぶ新島襄。安中藩士の子として江戸の安中藩上屋敷に生まれ、やがて同志社英学校(現在の同志社大学)を設立、キリスト教の伝道など教育分野に心血を注ぎましたが46歳の若さで病没しました。

2002年に発行した当館企画展示図録では新島襄の足跡を年表や写真資料とともに紹介しています。郷土学習の資料としてご活用ください。1冊500円で販売中。



◀シンプルで使いやすい新島襄レターセット(全2種/各500円)

問合せ▶安中市学習の森 ふるさと学習館 午前9時～午後5時(入館・ミュージアムショップは午後4時30分まで)  
安中市上間仁田951 ☎027-382-7622(ふるさと学習館) ☎027-388-0038(生涯学習施設予約)  
【3月の休館日】3/7(火)、3/14(火)、3/22(水)、3/28(火)